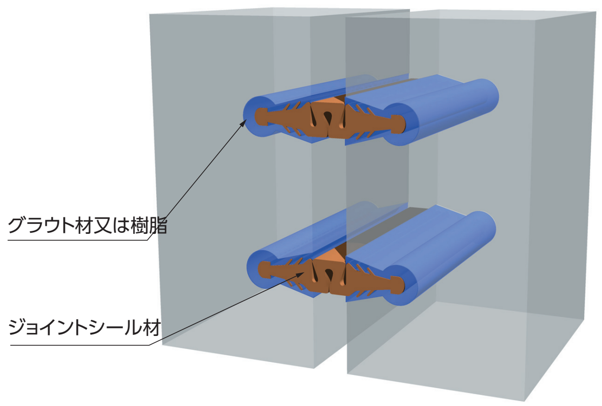
TSKJ工法〈可とうジョイント工法〉

建技審証　NETIS掲載終了 KK-980097-A

耐震性(T)、止水性(S)、可撓性(K)に優れた経済的なジョイントです。

■止水システム



建設技術審査証明
(下水道技術)
(公財)日本下水道新技術機構
建技審証第1817号 (有効期限:2024.3.31)

※本審査証明は
(株)ヤマックス・丸栄コンクリート工業(株)
に交付されたものです。

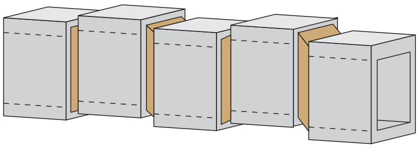
ボックスカルバート等プレキャストコンクリート製品の平滑な継手面に形成された溝に充てん材を注入した後,ジョイントシール材をそう入・連結することによって製品個々に可とう性を有する柔軟な構造となります。

これによりボックスカルバートはレベル2地震動に追従した耐震性能を満足するものとなります。

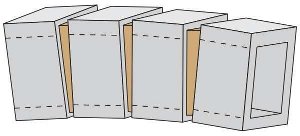
■耐震・可撓性

ブロックのジョイント部に可撓継手を設けているため、地盤の変化に追従し、過大な変形(最大地盤歪み2%)も吸収できます。

不等沈下



浮き上がり



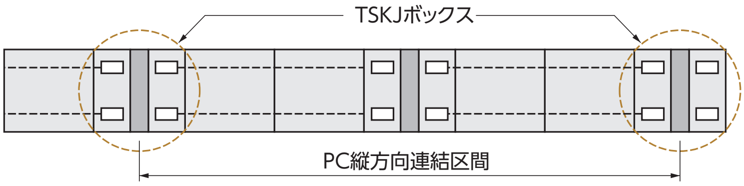
■地震動による管路軸方向の変形に対する設計概念

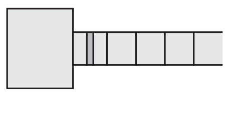
●PC縦方向連結による一般的な管路の要所におけるTSKJボックスカルバートの設計例

照査内容

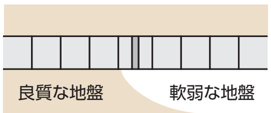
1.PC縦方向連結区間
　地震時軸力に対する目地開きの検討

2.TSKJボックス
　軸方向変位、曲げ変位に対する目地開きの検討

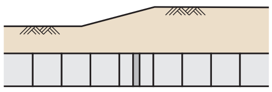




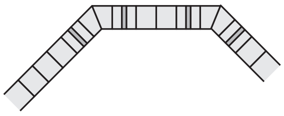
①桝など構造形が異なる部分での接続



②地層が変化する部分(不等沈下)



③上載荷重が変化する部分



④管路の接点部分

側溝関連
道路関連
管渠類
擁壁類
河川関連
基礎類
貯水槽関連
景観関連
その他